

平成 24 年 5 月

5 日

保護者各位

つくば少年少女サッカー連盟

村雲 慧 (桜南ファイターズ SC)

北川 武 (二の宮 FC)

## 低学年サッカーフェスティバル特別ルール解説 (1・2 年生用)

原則として日本サッカー協会のルールに従いますが、今回は以下の特別ルールを設けます。

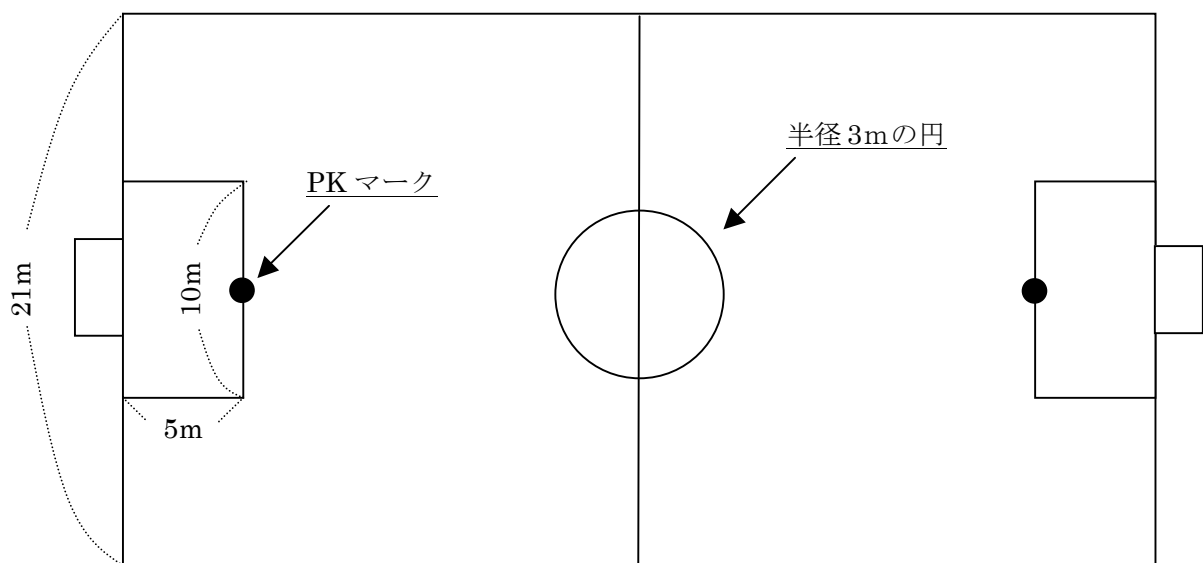
※試合時間が変わりましたのでご注意ください。

<1・2 年生> 第二サッカー場

- ・人数は 1 年生が 6 人制、2 年生が 5 人制で行います。(人数には GK を含みます。)
- ・試合時間は原則として 8 分-2 分-8 分で行います。(ただし、準備のできたコートから試合を開始し、各試合の終了は全コート統一します。)
- ・交代はフットサル形式で行います。
- ・オフサイドは無しとします。
- ・タッチラインを出たら、スローインで再開します。  
ただし、以下の 3 つのポイントを満たしたものをスローインとします。  
※両手で持ち、頭の上を通過させる。  
※上半身はひねらない。  
※最低でも片足は地面についている。  
○上記の 3 つのポイントだけでは日本サッカー協会のルールの正しいスローインではありませんが、少しずつ正しいスローインを習得することを狙いとしています。  
満たせなかった場合は、審判が指導した上でやり直します。
- 日本サッカー協会のルールでは、ファールスローは相手ボールになりますが、もう 1 度やり直すことで、子どもたちがポイントを意識できるようにします。  
また、やり直しをしたスローインが再度ファールスローになってしまった場合でも、1 度目より改善が見られた場合はプレーを続行します。

- ・キックオフで直接シュートを打っても、ゴールは認められません。  
○キック力の強い子どもたちにとって、フェスティバルのコートはキックオフで直接シュートを狙える広さです。上記のルールは、成長の早い、又は力のある子どもたちだけでの蹴り合いになることの防止を目的とします。
- ・ゴールキックは GK が行い、手で投げるか、持って蹴ることで再開します。(ボールを地面に置いてから蹴って再開した場合はやり直しとします)  
○1・2 年生の場合、ゴールキックを置いて蹴るとボールが飛ばない場合があります。ゴールキック=ピンチという状況を防ぎます。
- ・GK はボールキャッチした場合、ボールを手で投げるか、持って蹴ることで再開します。(ボールを地面に置いてから蹴って再開した場合はやり直しとします)  
○1・2 年生の場合、ボールをおいて蹴る際に後ろに下がり助走をとることが予想されます。その時に相手にボールを奪われることを防ぎます。
- ・ファールは、後のプレーに影響が出たときのみプレーを中断し、直接フリーキックで再開します。(※混戦の中で足を蹴ってしまった等は、試合の流れを優先します)  
○子どもたちに出来るだけ多くのプレーをしてもらいたいと考えています。短い時間での試合ですので、ファールを頻繁にとっているとプレー時間が短くなってしまいます。そのため、ファールの場面でも試合の流れを優先する場合があります。

### コート図



28m

平成 24 年 5

月 5 日

保護者各位

つくば少年少女サッカー連盟

村雲 慧 (桜南ファイターズ SC)

北川 武 (二の宮 FC)

## 低学年サッカーフェスティバル特別ルール解説 (3 年生用)

原則として日本サッカー協会のルールに従いますが、今回は以下の特別ルールを設けます。

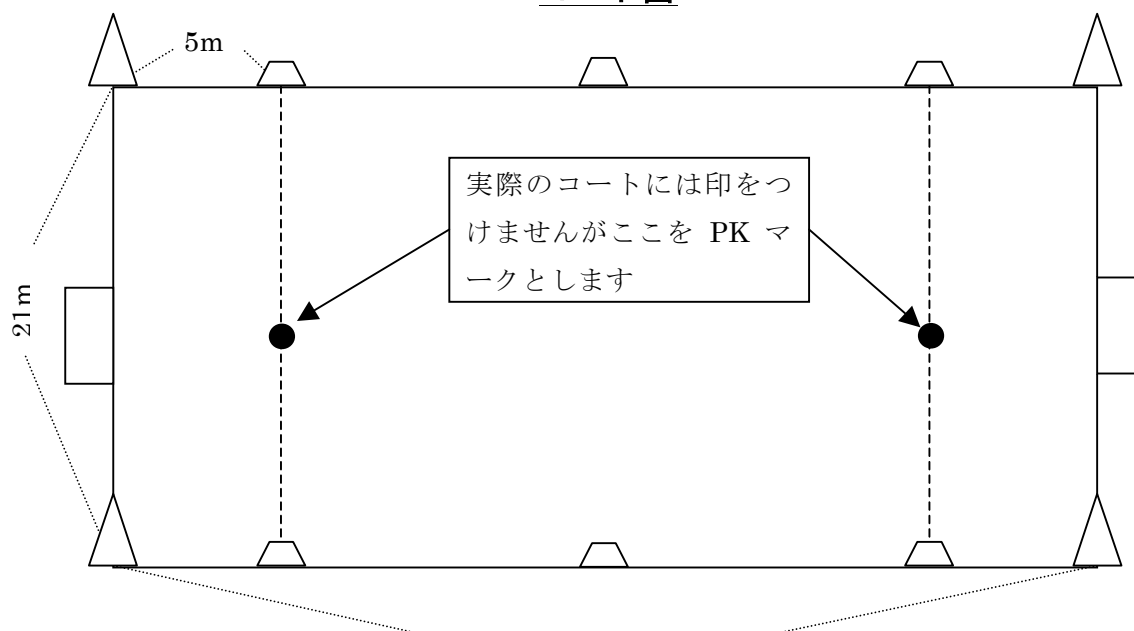
※試合時間が変わりましたのでご注意ください。

<3 年生> 第一サッカー場

- ・人数は 5 人制で行います。(人数には GK を含みます。)
- ・試合時間は原則として 8 分-2 分-8 分で行います。(ただし、試合の準備ができたコートから試合を開始し、各試合の終了は全コート統一します。)
- ・交代はフットサル形式で行います。
- ・オフサイドは無しとします。
- ・タッチラインを出たら、通常ルール通りスローインで再開します。  
※ただし、ファールスローの場合は審判が指導した上でやり直します。  
○日本サッカー協会のルールでは、ファールスローは相手ボールになりますが、もう 1 度やり直すことで、子どもたちがポイントを意識できるようにします。  
また、やり直しをしたスローインが再度ファールスローになってしまった場合でも、1 度目より改善が見られた場合はプレーを続行します。

- ・ゴールキックは、ペナルティーエリア内から行います。
- ・GKはキャッチした後、手で投げて再開します。(それ以外の方法で再開した場合はやり直しとします)
  - 3年生の場合、手で持って蹴ると相手ゴール前まで蹴れる子どもがでてきます。手で投げての再開にすることで、より多くの子どもたちがボールに触れる機会ができるようにします。
- ・キックオフで直接シュートを打っても、ゴールは認められません。
  - キック力の強い子どもたちにとって、フェスティバルのコートはキックオフで直接シュートを狙える広さです。上記のルールは、成長の早い、又は力のある子どもたちだけでの蹴りあいになることの防止を目的とします。
- ・ファールは、後のプレーに影響が出たときのみプレーを中断し、直接フリーキックで再開します。(※混戦の中で足を蹴ってしまった等は、試合の流れを優先します)
  - 子どもたちに出来るだけ多くのプレーをしてもらいたいと考えています。短い時間での試合ですので、ファールを頻繁にとっているとプレー時間が短くなってしまいます。そのため、ファールの場面でも試合の流れを優先する場合があります。
- ・PKについて、コートの関係上ペナルティーエリアが横に広がっていますが、エリア内でのファールはすべてPKとします。
  - 第一サッカー場では、ペナルティーエリアが横に広がりますが、キーパーが手でボールを扱える範囲ですのでエリア内でのファールはすべてPKとします。

コート図



- \* 点線とゴールラインの間がペナルティーエリアになります。
- \* 第一サッカー場ではセンターサークルを引くことができませんので、キックオフの際にはボールから約3メートル離れるよう審判から指示をしてもらいます。